

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
請求実務演習 IV Medical coding IV		2年	前期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
2単位	演習	選択 ()		請求実務演習 I・II・III履修者
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
医事コンピュータ I				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
医療事務フィールドの科目				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
古川 貴子	本館2階	火・水・木・金の9時から16時(授業時間を除く)		授業中に指示します
授業の概要				
請求実務演習 I・II・IIIの学習を確実にするとともに、 ①外来及び入院レセプト点検、 ②支払基金・国保連合会への請求の流れ、 ③様々な公費医療制度を中心に、IIIで扱わなかった診療科における事例検討について学習する。				
授業の目標				
請求事務のスキルアップを目指し、 ①DPCと、DPCに必要なICDコーディングとの繋がりが説明できるようにする。 ②診療科ごとの事例を理解しながら、特殊な検査・処置等の理解をできるようにする。 ③医療事務技能審査試験に合格できるようにする。				
授業の方法				
演習問題を中心に診療科ごとの特殊な算定の事例を正しくレセプト点検が行えるように学習を図る。				
学習の成果(学習成果)				
①公費負担医療制度に基づき診療報酬明細書(レセプト)を点検することができる。 ②医療事務技能審査試験に合格できる。 ③各診療科の特徴的な点数算定方法を説明できる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	外来カルテ点検及び事例検討 (消化器内科)			
第2回目	入院サマリー点検及び事例検討 (消化器内科)			
第3回目	外来カルテ点検及び事例検討 (整形外科)			
第4回目	入院サマリー点検及び事例検討 (整形外科)			
第5回目	外来カルテ点検及び事例検討 (産婦人科)			
第6回目	入院サマリー点検及び事例検討 (産婦人科)			

第7回目	外来カルテ点検及び事例検討（眼科）	
第8回目	入院サマリー点検及び事例検討（眼科）	
第9回目	公費医療制度の事例検討 ①	
第10回目	公費医療制度の事例検討 ②	
第11回目	公費医療制度の事例検討 ③	
第12回目	先進医療の事例検討 ①	
第13回目	先進医療の事例検討 ②	
第14回目	DPC・ICDの理解 *試験	
第15回目	請求業務の実際	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	30%	出された課題に集中して取り組んでいる。不明な点があれば積極的に質問している。
レポート		
調査報告書		
小テスト	30%	授業の進捗に合わせて随時確認テストを行い、理解度に応じて評価する。
試験	40%	授業の到達目標に掲げた項目の理解度に応じて評価する。
発表内容（態度含む）		
その他		
教科書と参考図書		
診療報酬早見表（医学通信社） 医療事務医科テキスト1～4（ニチイ学館） 医療事務医科スタディブック1～3（ニチイ学館） 医療事務医科ハンドブック（ニチイ学館）		
履修上の留意点・ルール		
請求業務演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲを履修していること。メディカルクラークを受験する場合は必ず履修すること。電卓を必ず用意すること。		